

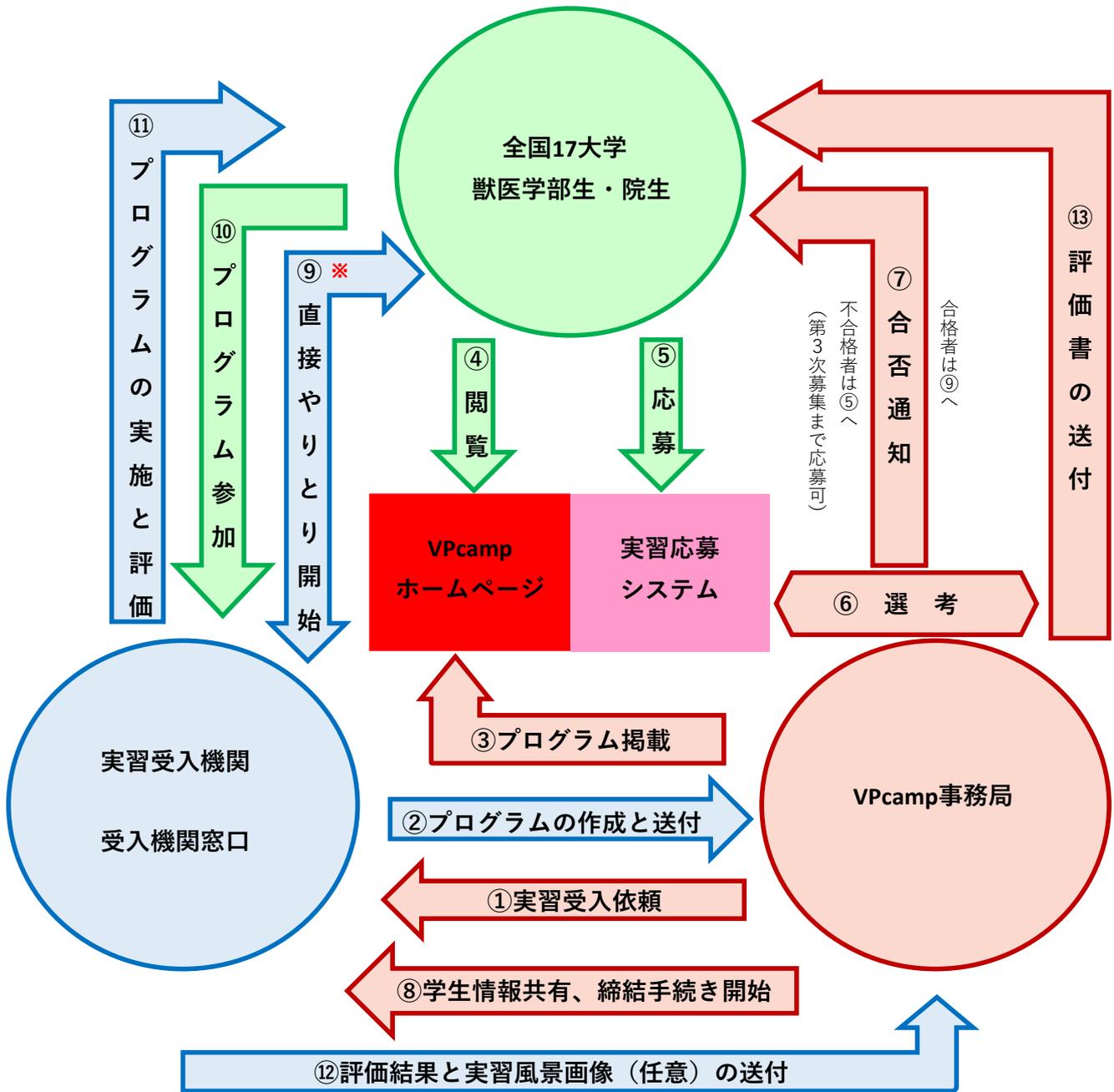
家畜衛生・公衆衛生獣医師  
インターンシップ



## 受入機関用手引き 最新版

NPO 法人 獣医学教育支援機構

# VPcamp 概略図



※ 最終情報の共有完了後、受入機関様と学生との間で直接のやり取りを開始していただきます  
誓約書・履歴書の送付等、必要な手続きを行ってください

## 目次

実習プログラムの作成	5
募集～選考	8
実習前	9
実習中	11
実習後	14
実習プログラム雛形	16
1. 実習目的	
2. 期間及び時期	
3. 実施場所	
4. 内容	
5. 実習プログラム例	
6. その他	
別表1 実習プログラムの例示	17
別表2 実習案5日間コース	21
10日間コース【1施設重点型】	23
10日間コース【2施設重点型】	24
事前講義プログラム	25
実習プログラムフォーム（入力の手引き）	29

## 資料

資料 1	覚書	31
資料 2	誓約書	34
資料 3	依頼状	35
資料 4	個別評価書	36
資料 5	VPcamp日誌	37
2025年度スケジュール予定		38

## STEP1 実習プログラムの作成

### VPcamp 事務局

○自治体等の家畜衛生・公衆衛生を担う機関に実習受入の依頼

### 実習受入機関

○本事業における実習受入機関となることを組織としてご決定ください。

※VPcamp は 2020 年 4 月より文部科学省受託事業からはずれた関係で、これまでとは運用が大幅に変更になっております。受入機関用手続きをご参照いただき、ご協力いただける場合に限りお申し込みください。

○実習プログラム (p.29-31 参照) を作成し、「実習プログラム記入フォーム」を VPcamp 事務局へ提出してください。

※記入フォームは所定の様式があります。実習の受入が決まり次第お送りしますので、記入例と注意事項をご確認の上ご記入ください。

### VPcamp 事務局

○届いたプログラムを VPcamp WEB サイトへ順次掲載

## 《実習プログラムの作成にあたってご注意いただきたいこと》

### 実習内容

実習プログラム雛形 (p.16-24) を参考に、自治体・機関の特徴を活かした実習プログラムを作成してください。内容は、見学・講習にとどまらずラボワークやフィールドワーク (業務帯同等) を含めたものとしてください。

実習内容にアドバンスト教育プログラムとなるパートが含まれている場合は、特に「アドバンスト教育プログラム」として紹介させていただきます。

また、実習場所へのアクセス方法、学生の服装や持ち物等についても具体的にご検討ください。白衣やつなぎ、長靴等の消耗品および実習生に対する旅費宿泊費賃借料等の経費を支給することはできませんので、ご承知おきください。

## 日程

大学の夏季・春季休業期間中で、5日間を基本に3～10日間で設定してください。  
(単位認定が必要な学生も参加します。認定基準は大学ごとに異なりますが、5日以上の実習を基準とする大学が多いようです)

## 課題

学生には、“毎日日誌を書くこと”を課しています。貴自治体・機関のインターンシップとして、レポート課題等が義務付けられている場合は、この日誌の提出で代用が可能かご検討ください。(※実習後に別途レポートを課す場合は、提出させるレポート課題の設定を行い、実習プログラム記入フォームにもその旨、ご記載ください)

## 人数

2～10人程度で設定してください。

## 参加条件

対象学年や履修科目、共用試験、英語能力、その他参加に必要な資格などを設定してください。

## 事前講義

学生が実習参加前に受講しておくべき事前講義プログラムを設定してください。  
VPcampでは、実習へのスムーズな導入を補助するツールとして、事前講義動画を用意しています。学生が事前に必要な知識を得た上で、実習に臨むことを推奨している点からも、本講義動画のご活用をお願いします。

### 事前講義プログラム (リスト : p.25-28)

講義動画 URL <http://www.vetintern.jp/video/>

- ◆講義はWEB受講で、1コマ約20分です。
- ◆指定された講義の受講確認として、各講義5題の小テストを課すシステムとなっています。

※動画視聴にはパスワードが必要です。(定期的に更新しています)

パスワードは、参加が決定した学生と、受入機関ご担当者様、大学教員等、希望があった場合に共有しています。

## 自治体・実習内容等のPR

実習地域やプログラムのイメージを助けるため、写真や動画のご提供をお願いしています。実習の魅力をアピールするためにも、実習担当者の顔写真、実習風景などの写真、動画などがありましたら、実習プログラム記入フォームとともに、VPcamp事務局まで送付してください。また、実習タイトルや学生へのメッセージ等でもぜひアピールをお願いします。その他に掲載のご希望がある場合は、事務局までご相談ください。可能な限り対応致します。

## STEP2 募集～選考

### VPcamp 事務局

- 全国の獣医学生を対象に、WEB サイトと Twitter にて実習の実施を告知
- 募集期間の設定／学生の募集
- 応募学生の選考
- 学生へ選考結果を通知

### 実習受入機関

- 事務局による参加学生の選考結果をお待ちください。
  - ※合格者が定員に満たない場合は、3次募集まで行います。
  - 合格した学生の情報は、選考の都度、ご報告しますが  
学生への連絡の開始は最終選考終了後よりお願いします。  
(実習日が差し迫っている場合は、この限りではありません)

### 学生

- 参加希望プログラム（実習先）を決定
- 募集期間中に VPcamp ホームページから応募
- 選考で合格→実習準備の開始（次項参照）
- 選考で不合格→次の募集期間に再応募可能

### 学生募集について

応募システム上、学生は1回の募集で1箇所しか応募できません。  
選考に漏れた学生のため、募集期間を3次まで設定しています。

### 学生選考について

学生の選考は、受入機関様からの要望や、参加動機、学年、大学間のバランス等を参考に、事務局とコーディネータが行います。  
選考にあたって「**地元出身者を優先する**」等の要望がある場合は、実習プログラム提出時に選考の際の優先事項としてお知らせください。

## STEP3 実習前

### VPcamp 事務局

- 合格した学生の情報を実習受入機関へ送付 ※1
- 参加学生に傷害保険と賠償責任保険への加入証明書の提出を指示／確認
- 参加学生の緊急連絡先を実習受入機関へ送付 ※2
- 実習機関との実習受入に必要な手続き（覚書の締結等）を実施
- 参加学生に対し実習中の注意点・課題等の再確認

※取り交わし文書につきましては、メールベースでのやり取りをお願いしております。

### 実習受入機関

- VPcamp 事務局から参加学生の情報を受け取ってください。
  - ※1 合格者情報：選考ごとに、合格した学生の大まかな情報を共有します。
  - ※2 参加者情報：合格した学生は、緊急連絡先や保険証書の登録を行います。  
これら全ての情報が揃った際、最終情報として共有します。
- 参加学生へ直接連絡を取り、実習の詳細・担当者の連絡先・宿泊施設等を伝えてください。
  - \*受入機関からの連絡が入らないことを心配する学生が増えています。実習開始までしばらく日にちがある場合でも、一度参加者全員へ連絡を入れてください。
- 参加学生との間で、必要な手続き（誓約書や履歴書の送付等）がある場合は、随時やり取りを行ってください。
- VPcamp 事務局との間で、実習受入に必要な手続き（覚書の締結等）を行ってください。
  - ※原則として、覚書等は VPcamp 所定の様式で作成させていただきます。  
ご所属機関独自の様式を用いる必要がある場合は、実習プログラム記入フォームにその旨を記載していただき、ご準備ください。
- やむを得ず実習プログラムに大幅な変更を行う場合（日程の短縮、内容の大幅な変更）は、直ちに学生へ連絡し、変更について了解を得てください。その際は、VPcamp 事務局へも共有をお願いします。

### 参加学生

- 実習受入機関より実習詳細の受け取り
- 保険加入証明書、緊急連絡先（親族・大学関係者）をVPcamp事務局へ登録
- 実習参加に必要な手続きの実施（誓約書・履歴書等）
- 実習受入機関から指定された事前講義プログラムを受講し、小テストに回答

### 実習受入機関

- 参加学生に対し、改めて実習実施時の注意点等の確認を行ってください。

### 実習中の保険加入について

参加学生は傷害保険と賠償責任保険への加入が義務となっています。それ以外の保険への加入が必要な場合は、実習プログラム提出時に「加入すべき保険」の欄に明記してください。

## STEP4 実習中

### 実習受入機関

- 実習プログラムに沿って実習を実施してください。
- 実習プログラムの冒頭にはオリエンテーションの実施をお願いします。
- 実習終了時、学生に日誌・課題（レポート等）の提出を指示してください。

※提出期限：目安は1週間以内 提出先：実習受入機関

○やむを得ず、実習プログラムに大幅な変更を行う場合（日程の短縮、内容の大幅な変更など）は、変更点に関して学生の同意を取り、代替のプログラムをご準備ください。また、VPcamp事務局にも変更の旨をご連絡ください。

※実習プログラム変更に伴うキャンセル料等の金銭的負担の発生について、本事業は費用弁償できませんのであらかじめご了承ください。

（例）「日程の短縮」を行ったため、学生がすでに予約していた宿泊施設のキャンセル料が発生した。

### 参加学生

- 実習初日、指定された場所に集合しオリエンテーションを受講
- 担当者の指示に従い、プログラムに参加
- 実習日誌の記入

## オリエンテーション

実習プログラムの冒頭にはオリエンテーションを実施し、以下の内容を  
確認・説明して下さい。

- ✓ 誓約書の内容の徹底
- ✓ その他の注意事項（喫煙場所・時間、立ち入り禁止場所など）の説明
- ✓ プログラムの全体構成および毎日の時間割の説明
- ✓ 指導員、その他関係者の紹介
- ✓ 参加学生の自己紹介
- ✓ 実習機関の概要についての説明
- ✓ 実習に参加する際の服装
- ✓ 昼食場所などについての情報提供
- ✓ 実習で使う場所・施設の案内

## 緊急時の対応について

### ○学生の傷病対応

事故やけがの発生時には、全ての緊急連絡先と、VPcamp 事務局へ連絡をお願いします。学生が加入している保険証書（写し）が必要な際は、VPcamp 事務局までご一報ください。

### ○災害発生時の対応について（実習の中断等）

災害等の発生に伴い、実習の継続が困難となった場合は、学生の安全を第一に対応のご決定をお願いします。実習期間の短縮、中断、再開等のスケジュールは、学生と合意を図ると共に VPcamp 事務局へもご報告をお願いします。

※各大学の規程により、単位認定には5日以上の実習参加が義務付けられている場合がございます。緊急対応により、実習期間が短縮する場合、原則として単位取得に関わる大学への事情説明や補填方法の交渉は、学生自身に委ねてください。事実確認その他が必要な場合は、VPcamp 事務局にてサポートを行います。学生から何らかの要望が出た場合は、VPcamp 事務局に連絡を取るよう指示をお願いします。

### 実習日誌 (p.38 参照)

参加学生は毎日、実習日誌をつけることが課されています。

日誌は実習終了後に学生から回収し、VPcamp事務局に送付（スキャンデータをメールで、またはコピーを郵送）をお願いします。学生の評価にも是非ご利用下さい。

日誌は事務局で確認した後、一部をHP上で公開する可能性があります。公開する際には、前もって公開内容を実習受入機関にご相談します。

### 実習風景の写真撮影のお願い

Instagram等SNSで使用するため、実習中の風景や集合写真等の提供をお願いします。全国の獣医学生へ少しでも多くの情報を届けるべく、受入機関様のご紹介も兼ねて写真を投稿しておりますので、ぜひ撮影とご提供をお願いいたします。

ご提供にあたっては学生の写真掲載承諾を得た上で、掲載可能と判断されたものをお送り頂くようお願いします。

当機構ソーシャルメディアポリシーを策定いたしましたのでご参照ください。

<https://www.veteso.or.jp/contact/socialmedia/>

## STEP5 実習後

### 参加学生

- 日誌・レポート等の課題提出
- 「実習後アンケート（学生用）」の回答 ※VPcamp HP 上より
- 個別評価書の受け取り
  - ※VPcamp 事務局より、実習終了 3 か月以内に各大学へ送付
- 必要に応じて単位申請
  - ※原則として単位申請には、VPcamp 事務局が発行する評価書を利用。
  - 受入機関への個別の書類作成依頼は控えることとしています。

### 実習受入機関

- 実習終了後 1 週間を目処に、学生から日誌・レポート等の課題の回収を行い  
学生の評価にご活用いただいた後、VPcamp 事務局へご送付ください。  
(スキャンデータをメールで送付、もしくは原本のコピーを郵送)
- 提出課題等も参考に学生の評価を行い、VPcamp 事務局へメールで提出してください。※評価シートは WEB からダウンロードできます
  - \* 評価シートは PDF に変換せず、エクセルファイルのまま提出して下さい**
- ホームページより、「実習後アンケート（受入機関用）」への回答をお願いします。  
(任意)  
実習風景等、Instagram での公開可能な写真があれば VPcamp 事務局へご提供ください。
- 実習参加学生の態度や気づいた点などは、アンケートにご記入いただく他、是非メール等でも VPcamp 事務局へお知らせください。

### VPcamp 事務局

- 実習受入機関より受け取った評価シートを基に「個別評価書」を作成
- 各大学へ「個別評価書」を送付

実習に参加した学生の評価を、受入機関各位に依頼しています。ご協力をお願いします。個別評価書の様式はWEBからダウンロードして下さい。

◆URL◆ <http://www.vetintern.jp/institution/questionnaire-office/kobetsuhyoka/>

本評価は、学生の単位認定に使用される場合があります。（評価項目は以下）

- ✓ 出席日数（欠席、遅刻、早退日数）
- ✓ 日誌／レポート提出（有・無）
- ✓ 日誌／レポートの内容評価（A 優れている・B やや優れている・C 普通・D 劣っている・E 未提出）
- ✓ 実習中の態度（A 良くできた・B 普通・C あまりできなかった）
- ✓ 実習内容の理解（A 良くできた・B 普通・C あまりできなかった）
- ✓ 業務中の行動適応（A 良くできた・B 普通・C あまりできなかった）
- ✓ 意欲的姿勢（A 良くできた・B 普通・C あまりできなかった）
- ✓ 上記項目についての特記事項
- ✓ その他学生へのメッセージ

より円滑な運営システム構築のため、アンケートへの回答をお願いします。

◆URL◆ <http://www.vetintern.jp/institution/questionnaire-office/>

- ✓ 受入人数
- ✓ 参加人数の適正
- ✓ 参加学生の基礎知識の適正
- ✓ 今後の実習参加学生に必要な事前講義
- ✓ 実習を通じた、知識の習得・実務経験の獲得
- ✓ 実習を通じた、就職先としての関心増大
- ✓ 実習実施の負担の適正
- ✓ 職場や職員の活性化
- ✓ 緊急連絡先の使用の有無
- ✓ 実施した実習プログラムの良い点・悪い点
- ✓ 実習先からの声（ホームページに掲載）

## 実習プログラム雛形

### 1. 実習目的

家畜衛生・公衆衛生行政を担う家畜保健衛生所、保健所、と畜場、食鳥処理場、動物愛護センター、衛生研究所などにおいて、現場における家畜衛生・公衆衛生分野の幅広い実務経験の獲得と、高度で実践的な専門知識・技術を習得する。食品安全・感染症管理・動物福祉のいずれかまたは2つ以上の分野の、体系的な実務経験を獲得するものとします。

### 2. 期間および時期

5日間を基本に、3～10日間で設定（土日曜・祝日は除く）

大学の夏期（8-9月）、春期（2-3月）休業期間に実施（一部プログラムを除く）

### 3. 実施場所

家畜保健衛生所、保健所、と畜場、食鳥処理場、動物愛護センター、衛生研究所、家畜衛生試験場、本庁など地方公共団体及び国等の機関において行政獣医事を担う施設において実施。ラボワークまたはフィールドワーク実習は、1施設以上で行ってください。

### 4. 内容

単に見学、講義にとどまらず、ラボワークまたはフィールドワークを含めるものとします。

（実習例はp.17-20参照）

実習例のうち、より実践的かつ発展的な実習プログラムに該当するものは「アドバンスト実習」と位置づけています。実施可能であれば積極的に採用してください。

### 5. 実習スケジュール

別表2参照

## 実習プログラムについて

VPcampとして各地で実施されるインターンシップ（実習）プログラムは、実施内容から「ベーシック実習」と「アドバンスト実習」の2つに分類するものとします。

「ベーシック実習」とは、施設や業務の見学・帯同、業務説明等の講義、検査キット等を用いた簡易検査体験で構成された実習プログラムを指します。

「アドバンスト実習」はベーシック実習に加え、①簡易体験に留まらない検査実習、②より高度で専門的な知識の習得と実践、③自発的・発展的な思考を促すプログラムを含む実習プログラムを指します。

1)簡易体験にとどまらず、検体の採取、経時的な操作・観察、判定、評価の一連のプロセスを体験することができる実習。

2)感染症管理、HACCP構築、畜水産物の輸入手続き、リスクアナリシス、管理獣医師業務体験など、現場に即した実践的な内容かつ大学カリキュラムのみでは深化が困難なテーマを取り扱う実習。

3)単に見学・帯同に終始せず、見聞きした内容を掘り下げるディスカッションなど、アクティブラーニングを取り入れたプログラム。

## 実習プログラムの具体例

### 食肉衛生検査所

#### ■ベーシック実習

- ・施設見学／業務説明（HACCP含む）
- ・内臓検査体験
- ・微生物検査、生化学検査、病理検査の基本手技を体験する実習（簡易検査体験）

#### ■アドバンスト実習

- ・細菌、ウイルスを特定する検査実習（2～3日かけて経時的な観察、操作を行う検査体験）
- ・放射性物質検査体験（基本知識や背景の講義、検体処理等一連の体験を含む）
- ・HACCPに沿った点検業務体験
- ・HACCPの構築体験
- ・HACCPに沿った衛生指導帯同と指導内容についてのディスカッション
- ・アニマルウェルフェア／薬剤耐性問題等の講義とディスカッション

## 家畜保健所

### ■ ベーシック実習

- ・施設見学／業務説明
- ・微生物検査、生化学検査、病理検査、BSE検査等 基本手技を体験する実習（簡易検査体験）

### ■ アドバンスト実習

- ・細菌、ウイルスを特定する検査実習（2～3日かけて経時的な観察、操作を行う検査体験）
- ・防疫演習（実践体験）
- ・防疫シミュレーション（平時、有事の対応フローをディスカッション形式で学ぶもの）
- ・農場帯同とコミュニケーション技術についてのディスカッション
- ・アニマルウェルフェア／薬剤耐性問題等の講義とディスカッション

## 保健所

### ■ ベーシック実習

- ・施設見学／業務説明
- ・微生物検査の基本手技を体験する実習（簡易検査体験）
- ・新規営業許可施設等 相談の受付、調査の帯同
- ・営業許可、監視指導、収去の帯同

### ■ アドバンスト実習

#### 1. 食品衛生に係わる業務実習

- ・新規営業許可施設等 相談の受付、調査の帯同とフィードバックおよびディスカッション
- ・営業許可、監視指導、収去の帯同とフィードバックおよびディスカッション
- ・HACCPに沿った衛生管理指導の帯同
- ・危機管理演習（実践体験）
- ・危機管理シミュレーション（食中毒発生等を想定した対応フローを学ぶセッション）
- ・リスクコミュニケーションの実施、運営参加
- ・コミュニケーション、対応技術についてのディスカッション

#### 2. 生活衛生に係わる業務実習

- ・理容所、美容所、クリーニング所、旅館業、興行場、公衆浴場 監視指導の帯同、調査、検査実習（現場における簡易検査体験等）
- ・水道、河川、井戸等の水質検査の帯同、調査、検査実習（現場における簡易検査体験等）
- ・薬事監視に係わる業務の帯同
- ・リスクコミュニケーションの実施、運営参加
- ・コミュニケーション、対応技術についてのディスカッション

## 動物愛護センター

### ■ ベーシック実習

- ・施設見学／業務説明
- ・動物の保護、管理の業務実習  
(動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分の帯同実習)
- ・動物愛護精神と適正飼養の普及啓発に関わる業務の帯同実習
- ・動物教室、譲渡会、イベント、講習会の開催、運営参加

### ■ アドバンスト実習

- ・動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習
- ・現場におけるコミュニケーション技術についてのディスカッション
- ・適正飼養、アニマルウェルフェア、コミュニケーション技術等についてのディスカッション

## 衛生研究所、畜産試験場 等

### ■ ベーシック実習

- ・施設見学／業務説明
- ・感染症、疫学等の講義
- ・各種検査の基本手技を体験する実習（簡易検査体験）

### ■ アドバンスト実習

- ・現場帯同による検査実習（採材、分析、評価の各工程を含む）
- ・危機管理演習（実践体験）
- ・危機管理シミュレーション（感染症発生等を想定した対応フローを学ぶセッション）
- ・リスクマネジメント、リスクコミュニケーションについてのディスカッション
- ・疫学、統計解析実習
- ・農場HACCPに沿った農場衛生管理業務の帯同実習
- ・家畜のハードヘルスマネジメントの手法の普及啓発、指導業務の帯同実習

## 本庁

### ■ ベーシック実習

- ・施設見学／業務説明
- ・各種講義（所管域内の家畜衛生、公衆衛生情勢の講義、都道府縣市条例とその背景についての講義、職員獣医師の活動についての紹介）

■ アドバンスト実習

- ・リスクベースの感染症管理施策策定などに係る会議への陪席
- ・条例等の策定実習
- ・都道府県市条例とその背景にかかわるディスカッション

※平成 31 年 3 月 4 日に開催したコーディネータ会議での議論と、その後の整理により再定義されたものです。（2019. 4. 25）

## 別表 2

### 5日間コース

#### 実習案 1 (5日間の家畜保健衛生所を主体とするプログラム)

	午前		午後	
1日目	オリエンテーション	業務説明	防疫実習(鳥インフルエンザ防疫のシミュレーション)	
2日目	防疫実習(口蹄疫貿易のシミュレーション)		病理検査体験実習	
3日目	ウイルス検査の体験実習		生化学検査の体験実習	
4日目	細菌検査の体験実習		BSE 検査の体験実習	
5日目	他施設の見学		他施設の見学	

#### 実習案 2 (5日間のと畜場を主体とするプログラム)

	午前		午後	
1日目	オリエンテーション	業務説明	と畜検査の講義	
2日目	生体検査の帯同実習		解体前検査の帯同実習	
3日目	頭部検査の帯同実習	内臓検査の帯同実習	枝肉検査の帯同実習	と畜場における HACCP 実施体験実習
4日目	理化学的検査の帯同実習		微生物学的検査の帯同実習	
5日目	他施設の見学		他施設の見学	

#### 実習案 3 (5日間の動物愛護センターを主体とするプログラム)

	午前		午後	
1日目	オリエンテーション	業務説明	動物の保護と管理の帯同・体験実習 (動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分)	
2日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習			
3日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習		動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習(動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習)	
4日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物教室、イベントへの参加、講習会)			
5日目	他施設の見学		他施設の見学	

実習案4 (5日間の**保健所**を主体とするプログラム)

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	業務説明	食品衛生に関する帯同実習
2日目	食品衛生に関する帯同実習 (食品関連施設の営業許可、監視指導、抜き取り検査)		
3日目	生活衛生に関する帯同実習 (理容所、美容所、クリーニング所、旅館業、興行場、公衆浴場監視指導)		
4日目	生活衛生に関する帯同・体験実習(水道、河川、井戸等の水質検査)		
5日目	他施設の見学		他施設の見学

実習案5 (5日間の**保健所**と**動物愛護センター**を主体とするプログラム)

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	保健所 業務説明	食品衛生に関する帯同実習(食中毒、 食品衛生に関する相談の受付・調査)
2日目	食品衛生に関する帯同実習 (食品関連施設の営業許可、監視指導、抜き取り検査)		
3日目	動物愛護 センター 業務説明	動物の保護と管理 の帯同・体験実習	動物取扱業、 特定動物の監視・指導の帯同実習
4日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物教室、イベントへの参加、講習会)		
5日目	他施設の見学		他施設の見学

実習案6 (5日間の**家畜保健衛生所**と**保健所**を主体とするプログラム)

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	家畜保健衛生所 業務説明	病理検査の体験実習
2日目	ウイルス検査の体験実習		生化学検査の体験実習
3日目	保健所 業務説明	食品衛生に関する帯 同実習(食中毒、食 品衛生に関する相談 の受付・調査)	食品衛生に関する帯同実習 (食品関連施設の営業許可、 監視指導、抜き取り検査)
4日目	食品衛生に関する帯同実習 (HACCP手法に沿った食品事業者の衛生管理指導)		
5日目	他施設の見学		他施設の見学

## 10日間コース（1施設重点型）

実習案7（10日間のと畜場を主体とするプログラム）

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	業務説明	と畜検査の講義
2日目	生体検査の帯同実習		
3日目	解体前検査の帯同実習		
4日目	頭部検査の帯同実習		
5日目	内臓検査の帯同実習		
6日目	枝肉検査の帯同実習		
7日目	と畜場における HACCP の 実施体験実習		放射性物質検査の体験実習
8日目	BSE 検査の 体験実習	理化学的検査の 体験実習	微生物学的検査の体験実習
9日目	他施設の見学		他施設の見学
10日目	他施設の見学		他施設の見学

実習案8（10日間の動物愛護センターを主体とするプログラム）

	午前		午後
1日目	オリエンテーション	業務説明	動物の保護と管理の帯同・体験実習(動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分)
2日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習		
3日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習		
4日目	他施設の見学		他施設の見学
5日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物教室、イベントの準備、打ち合わせ)		
6日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物教室、イベント、講習会の運営・参加)		
7日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物教室、イベント、講習会の運営・参加)		
8日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習		
9日目	動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習		
10日目	他施設の見学		他施設の見学

## 10日間コース（2施設重点型）

実習案9（10日間の**保健所**と**動物愛護センター**を主体とするプログラム）

保健所			
	午前		午後
1日目	オリエンテーション	業務説明	食品衛生に関する帯同実習(食中毒、食品衛生に関する相談の受付・調査)
2日目	食品衛生に関する帯同実習 (食品関連施設の営業許可、監視指導、抜き取り検査)		
3日目	生活衛生に関する帯同実習 (理容所、美容所、クリーニング所、旅館業、興行場、公衆浴場監視指導)		
4日目	生活衛生に関する帯同・体験実習(水道、河川、井戸等の水質検査)		
動物愛護センター			
5日目	オリエンテーション	業務説明	動物の保護と管理の帯同・体験実習 (動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分)
6日目	動物の保護と管理の帯同・体験実習 (動物の収容、犬猫の引取り、動物の管理、動物の譲渡、殺処分)		
7日目	動物愛護精神と適正飼養の普及啓発の帯同・体験実習 (動物教室、イベント、講習会の運営・参加)		
8日目	動物取扱業、特定動物の監視・指導の帯同実習		
9日目	他施設の見学		他施設の見学
10日目	他施設の見学		他施設の見学

## 事前講義プログラム

VPcampでは参加学生に対し、実習参加前の参加者必修講義及び実習に関連する内容の講義を受け、必要な知識を得てから実習に参加することを求めています。

講義は1コマ約20分で、WEB上で受講します。

◆事前講義プログラム <https://www.vetintern.jp/video/> \*視聴にはパスワードが必要です。

### VPcamp 事前講義一覧

講義タイトル	講師	収録年
<b>0. 参加者必修講義</b>		
VPcamp 参加にあたって～実習を受ける際の心得～ 実習チェックリスト	東京大学 杉浦勝明	28
<b>1. 獣医公衆衛生行政・法規</b>		
1-1 公衆衛生と獣医師	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26
1-2 獣医公衆衛生行政の仕組み	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26
1-3 公衆衛生行政のための法律 総論 I (食品衛生法、と畜場法、食鳥検査法)	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26
1-4 公衆衛生行政のための法律 総論 II (感染症法)	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26
1-5 日本の食品安全行政のしくみ	内閣府 食品安全委員会 小財恵	26
1-6 食品安全のリスク評価について	内閣府 食品安全委員会 松下茜	26
1-7 保健所・食肉衛生検査所の業務内容	一般財団法人 日本冷凍食品検査協会 加地祥文	26
1-8 食品衛生監視員の役割	東京家政大学 森田幸雄	26
1-9 と畜検査員の役割およびと畜処理	東京家政大学 森田幸雄	26
1-10 と畜場で全部廃棄・部分廃棄になる疾病	東京家政大学 森田幸雄	26
1-11 動物愛護管理行政について	環境省 川越匡洋	30
1-12 狂犬病予防業務 動物愛護管理業務について	東京都 動物愛護相談センター 新井英人	27
1-13 「食鳥検査」について	宮城県 福祉保健部衛生管理課 下村高司	27
1-14 食鳥処理場における衛生管理 (HACCPを含む)	宮城県 福祉保健部衛生管理課 下村高司	27
1-15 HACCP システムとその特長	国立保健医療科学院 温泉川肇彦	29
<b>2. 家畜衛生行政・法規</b>		
2-1 最近の家畜衛生をめぐる情勢について (国内防疫 I)	農林水産省 石川清康	28

2-2 最近の家畜衛生をめぐる情勢について (国内防疫Ⅱ)	農林水産省 石川清康	28
2-3 家畜衛生行政 動物検疫(輸出入検疫)	農林水産省 伏見啓二	27
2-4 動物薬事行政(2019年度版)	農林水産省 関口秀人	30
2-5 動物薬事行政Ⅰ	麻布大学 平山紀夫	27
2-6 動物薬事行政Ⅱ	麻布大学 平山紀夫	27
2-7 家畜保健衛生所の役割	愛知県 家畜保健衛生所 神谷俊樹	27
2-8 家畜防疫員の責務	愛知県 家畜保健衛生所 神谷俊樹	27
2-9 動物検疫所について	農林水産省 伊藤和夫	28
2-10 動物検疫	農林水産省 伊藤和夫	28
2-11 動物検疫所の獣医師の責務	農林水産省 伏見啓二	27
2-12 獣医師法について	農林水産省 中元哲也	30
2-13 獣医療法と獣医師の活動分野の動向	農林水産省 中元哲也	30
<b>3. 食品安全</b>		
3-1 と畜場で防いでいる人獣共通感染症 について	東京家政大学 森田幸雄	26
3-2 と畜場 HACCP について	東京家政大学 森田幸雄	26
3-3 食肉の対米・対EU輸出	東京家政大学 森田幸雄	26
3-4 農場 HACCP の概要	那須イーテイ研究所 西貝正彦	27
3-5 農場 HACCP 認証審査について	那須イーテイ研究所 西貝正彦	27
3-6 食品由来感染症の概要	国立医薬品食品衛生研究所 五十君静信	27
3-7 野生鳥獣肉の衛生対策(1)	日本大学 壁谷英則	28
3-8 野生鳥獣肉の衛生対策(2)	日本大学 壁谷英則	28
3-9 HACCP 運用指導の実際	株式会社高澤品質管理研究所 高澤秀行	29
3-10 HACCP による食品衛生管理	ロイドレジスタージャパン 今城敏	29
3-11 マネジメントシステムと認証制度の概要	ロイドレジスタージャパン 今城敏	29
3-12 食品安全と食品衛生	日本食品分析センター・北海道大学 一色賢司	29
3-13 食品安全とフードチェーン対策	日本食品分析センター・北海道大学 一色賢司	29
3-14 牛トレーサビリティに関わる行政について	農林水産省 東盛俊哉	30
<b>4. 感染症防疫</b>		
4-1 人獣共通感染症と新しい獣医師の役割Ⅰ	千葉科学大学 吉川泰弘	26
4-2 人獣共通感染症と新しい獣医師の役割Ⅱ	千葉科学大学 吉川泰弘	26
4-3 アルボウイルス感染症	国立感染症研究所 高崎智彦	27
4-4 家畜に分布する薬剤耐性菌の現状と対策	岐阜大学 浅井鉄夫	27
4-5 動物に由来する薬剤耐性菌	岐阜大学 浅井鉄夫	28

4-6 愛玩動物由来感染症	国立感染研究所 今岡浩一	27
4-7 狂犬病ウイルスについて	国立感染研究所 井上智	28
<b>5. 倫理・群管理・アニマルウェルフェア</b>		
5-1 小動物診療分野で期待する職業倫理 I	獣医療問題研究会 山村穂積	26
5-2 小動物診療分野で期待する職業倫理 II	獣医療問題研究会 山村穂積	26
5-3 災害時の動物マネジメント	環境省 田口本光	30
5-4 農場のバイオセキュリティ Part1:動物疾病の現状と将来	株式会社スワイン・エクステンション&コンサルティ ング 大竹聡	28
5-5 農場のバイオセキュリティ Part2:バイオセキュリティの実践と成功	株式会社スワイン・エクステンション&コンサルティ ング 大竹聡	28
5-6 養豚管理獣医師の業務と役割 ～養豚場へのコンサルティング～	有限会社サミットベテリナリーサービス 石関紗代子	28
5-7 What is expected of the swine veterinarians (養豚開業獣医師に求められるもの)	Carthage Veterinary Service Clayton Johnson	29
5-8 Biosecurity of pig farms (養豚農家のバイオセキュリティ)	Carthage Veterinary Service Clayton Johnson	29
5-9 Animal welfare on pig farms (養豚場におけるアニマルウェルフェア)	Carthage Veterinary Service Clayton Johnson	29
<b>6. 畜産資材</b>		
6-1 動物用ワクチンについて	麻布大学 平山紀夫	26
6-2 ペットの食の安全確保 ペットフードの種類と市場	獣医療法食評価センター 藤井立哉	29
6-3 ペットの食の安全確保 ペットフードの製造と品質管理	獣医療法食評価センター 藤井立哉	26
6-4 ペットの食の安全確保 小動物診療における犬と猫の食事療法	獣医療法食評価センター 藤井立哉	29
6-5 薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン	動物医薬品検査所 山本実	28
6-6 配合飼料の製造と品質管理 -牛用配合飼料を中心に-	雪印種苗株式会社 多田真一	28
6-7 飼料原料となる穀物の需給 (1)	関東グレーンターミナル株式会社 大盛浩典	28
6-8 飼料原料となる穀物の需給 (2)	関東グレーンターミナル株式会社 大盛浩典	28
6-9 飼料安全行政	農林水産省 古川明	30
6-10 ペットフード安全行政	農林水産省 岡村行岳	30

7. 獣医疫学		
7-1 はじめに	東京大学 杉浦勝明	27
7-2 牛白血病の疫学調査	動物衛生研究所 小林創太	27
7-3 生産現場のデータを用いた疫学研究	酪農学園大学 中田健	27
7-4 動物感染症とシミュレーションモデル	動物衛生研究所 山本健久	27
7-5 ペット保険データを用いた疫学研究	アニコム損害保険株式会社 井上舞	27
8. 馬の臨床学		
8-1 馬の臨床学総論	日本中央競馬会 (JRA) 競走馬総合研究所 上野儀治	25
8-2 馬の構造特性	日本中央競馬会 (JRA) 競走馬総合研究所 桑野睦敏	25
8-3 馬の臨床学総論と競馬におけるドーピング	日本中央競馬会 (JRA) 競走馬総合研究所 上野儀治	25
8-4 馬の運動器疾患	日本中央競馬会 (JRA) 競走馬総合研究所 笠嶋快周	25
8-5 馬の循環器・呼吸器疾患	日本中央競馬会 (JRA) 競走馬総合研究所 大村 一	25
8-6 馬の眼科疾患	日本中央競馬会 (JRA) 競走馬総合研究所 和田信也	25
8-7 臨床繁殖学・産科学	日本中央競馬会 (JRA) 日高育成牧場 南保泰雄	25
8-8 馬感染症総論	日本中央競馬会 (JRA) 競走馬総合研究所 奥河寿臣	25
9. 国際獣疫事務局 (OIE) アジア太平洋地域事務所		
9-1 OIE 入門-獣医学を志す学生のために-	OIE アジア太平洋地域代表 釘田博文	28
9-2 OIE の役割と活動 (1) -動物疫病情報の収集提供-	OIE アジア太平洋地域代表 釘田博文	28
9-3 OIE の役割と活動 (2)-国際基準の設定-	OIE アジア太平洋地域代表 釘田博文	28
9-4 OIE の役割と活動 (3) -科学的ネットワーク-	OIE アジア太平洋地域代表 釘田博文	28
9-5 OIE の役割と活動 (4)-各国・地域への支援-	OIE アジア太平洋地域代表 釘田博文	28
10. その他		
10-1 家畜改良増殖目標について	農林水産省 菊池淳志	27
10-2 酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針について	農林水産省 鈴木恭人	27
10-3 アフリカ豚コレラ ~養豚産業への世界的脅威~	サンチェス・ヴィスカイノー教授	27
10-4 The training of official veterinarians in France. I	Professor Marc ARTOIS	26
10-5 The training of official veterinarians in France. II	Professor Marc ARTOIS	26

## 実習プログラムフォーム(入力の手引き)

※入力内容を基にWEBサイトへ募集ページを開設します。掲載例は過去のアーカイブをご参照ください。 <https://www.vetintern.jp/applicant/archive/>

項目	ご担当者様の記入欄
実習機関・自治体名称	機関名・県名・都市名をご記入ください(必須) 複数ある場合はコース名も記入してください
獣医学生へのメッセージ	自由記述でご記入ください(必須) 職務の魅力をはじめ、実習地や職員の魅力、 意気込みなどもご自由にお書きください。
実習をPRするムービーやその他紹介可能なコンテンツ	プルダウンで選んでください ありの場合URL等 ご記入ください
実習のキャッチフレーズ	実習タイトルになります(必須)
対象学年	1年生から院生までで設定してください(必須)
実習期間/日数	3~5日間まででご記入ください(必須)
受入人数	日程に選択肢がある場合は、 各日程○人計○人と明記してください(必須)
受入条件・資格(英語能力、免許など)	ご記入ください
履修済みである必要のある科目	公衆衛生学、家畜衛生学など、ご記入ください
その他必要な資格	ご記入ください
実施場所①名称	ご記入ください(必須)
住所	※施設ごとに住所までご記入ください
実施場所②名称	ご記入ください
住所	
実施場所③名称と所在地	ご記入ください
住所	
実施場所④名称と所在地	ご記入ください
住所	
実施場所⑤名称と所在地	ご記入ください
住所	
実習開始日の集合日時/場所	ご記入ください(必須)
集合場所までのアクセス方法	ご記入ください(必須)
宿泊施設の案内	ご記入ください 記入のない場合は「各自で手配してください」と掲載します どの地域(駅)で確保するのがよいかのアドバイスの記入は ぜひお願いします
服装	ご記入ください(必須)
持ち物	ご記入ください(必須)
実習先・実習に関する資料(ウェブページ、PDF等)	プルダウンで選んでください ありの場合URL等 ご記入ください
実習生が提出する必要がある書類(誓約書など) ※参加者決定後、 <u>受入機関様と学生間で直接取り交わして頂いております</u>	ご記入ください 誓約書、履歴書、依頼状などが考えられます
実習後 課題・レポート提出の有無(ある場合は内容も)	ご記入ください 「有」かつテーマ・提出様式(字数等)が決まっている場合は、 それもご記入ください
実習生があらかじめ加入すべき傷害保険の種類(学生がケガをした場合の保障)	ご記入ください(必須) 例:「学生教育研究災害傷害保険」(JEES)もしくは「学生総合共済 (生命共済)」(大学生協)もしくはこれらと同等のもの など
実習生があらかじめ加入すべき賠償責任保険の種類(学生が実習機関のものを壊したり、損害を加えた場合の保証)	ご記入ください(必須) 例:「学研災付帯賠償責任保険」(JEES)もしくは「学生賠償責任保 険」(大学生協)もしくはこれらと同等のもの など

実習プログラム詳細	概要説明		プログラムの概略をご記入ください(必須) 文章での記載をお願いします
	1日目	場所	ご記入ください(必須) 午前、午後で異なる場合は、列記してください 例:県庁/食肉衛生検査所
		午前	ご記入ください(必須) 主に箇条書きで、可能な限り詳細に記入してください
		午後	ご記入ください(必須)
	2日目	場所	ご記入ください(必須)
		午前	ご記入ください(必須)
		午後	ご記入ください(必須)
	3日目	場所	ご記入ください(必須)
		午前	ご記入ください(必須)
		午後	ご記入ください(必須)
	4日目	場所	ご記入ください(必須)
		午前	ご記入ください(必須)
		午後	ご記入ください(必須)
	5日目	場所	ご記入ください(必須)
午前		ご記入ください(必須)	
午後		ご記入ください(必須)	
実習生が視聴しておくべき事前講義プログラムをお選びください ※平均5講義程度 (それ以上の場合は欄を増やしてご記載ください。なしでも構いません)			プルダウンで選んでください プルダウンで選んでください プルダウンで選んでください プルダウンで選んでください プルダウンで選んでください
大変お手数ですが、構成時間(開始時間と終了時間)、昼食のとり方をご記入ください。			・セッション構成時間 ・昼食のとり方
注意事項			ご記入ください
問合せ先 ※参加者決定前は、原則としてVPcamp事務局が問合せ先となり、仲介します。参加条件が細かい、検討段階の学生と直接話したい、という場合のみご記入下さい。			直接学生とやり取りを希望される場合のみ、ご記入ください
事務局と実習機関とで必要な締結書類 ※VPcampが作成するのは覚書・依頼状のみです。参加学生決定後、VPcamp事務局の所定の様式にて準備を致します。 また、やり取りはメールベースで行います。 別途指定様式のある場合、紙ベースでのやり取りをご希望の場合は、お手数ですが貴機関にてご準備ください。 ※大学や指導教員との直接締結はお控え下さい。			プルダウンで選んでください プルダウンで選んでください
指定様式の有無			プルダウンで選んでください
覚書や協定書の締結者(原則として実習機関の長)のご所属とお名前 ※実習施設ごとに締結が必要な場合は、適宜枠を増やしてご記入ください			住所:締結が必要な場合は必須 ご所属(肩書):締結が必要な場合は必須 氏名:締結が必要な場合は必須
実習窓口の方のお名前①			お名前 : ご記入ください(必須)
担当課①			ご所属 : ご記入ください(必須)
電話①			電話番号 : ご記入ください(必須)
メールアドレス①			メールアドレス : ご記入ください(必須)

## 覚書

### ●●機関名●●における実習・インターンシップ プログラムに関する覚書

NPO 法人獣医系大学間獣医学教育支援機構及び●●機関名●●とは、別記名簿に記載されている学生（以下「学生」という）が、●●機関名●●において実習・インターンシッププログラム（以下「実習」という）を行うことについて、下記のとおり覚書を締結する。

## 記

### 第1 実習実施に係る基本的役割等

●●機関名●●は、別記のとおり学生を就業体験実習生として受け入れ、学生に対し必要な指導・助言を行う。NPO 法人獣医系大学間獣医学教育支援機構（以下「機構」）は学生に対し、本覚書に定める事項を周知するとともに、円滑な実習を進めるために必要な指導及び監督を行う。

### 第2 実習時間、手当等の支給及び事故への対応等

- (1) 実習時間は、午前9時00分から午後5時まで（以下「定時」という）とする。このうち午後0時から午後1時までを休憩時間とする。なお、定時以外にも若干の実習を行うことがある。
- (2) ●●機関名●●は、実習中、学生に対し通勤費（自宅及び滞在先より）、手当（日当）、食費及び旅費（滞在先までの往復旅費）を支給しない。
- (3) 機構は、学生に傷害保険及び賠償責任保険に加入させ、学生が実習中において関係他者（●●機関名●●、人物、財物等）に損害、損傷を与えた場合は、当該保険により補償する。

### 第3 実習中における遵守事項等

- (1) 学生は、実習に関して指導員の指示に従い、実習期間中は実習に専念し、公務の信用を傷つけ、又は公務員全体の不名誉となるような行為を行ってはならない。
- (2) 実習の欠務は、正当な事由による場合以外は認めない。やむを得ず欠務する場合は、事前に指導員に申し出て、その指示に従うこととする。正当な事由による場合であっても2日以上欠務した場合、●●機関名●●は、実習を打ち切ることができることとする。
- (3) 学生は、●●機関名●●における実習活動中に知り得た情報（公開されているものを除く。）の開示については、指導員の指示に従わなければならない。実習終了後においても、同様とする。
- (4) 学生は、実習の成果を論文等により外部へ発表する場合には、事前に●●機関名●●知事名等の承認を受けなければならない。
- (5) ●●機関名●●は、学生がこの覚書に従わない場合、その他実習を継続しがたい事由が生じた場合は実習を打ち切ることができる。●●機関名●●は、実習を打ち切った場合は、速やかに機構にその旨を通知する。

### 第4 誓約書の提出

学生は、実習に先立ち、●●機関名●●に対して誓約書を提出する。

### 第5 協議

本覚書に定めがない事項又は本覚書に疑義が生じた事項については、双方協議の上決定するものとする。

本覚書の締結を証するため、本書2通を作成し、双方捺印の上それぞれ1通を保管するものとする。

令和3年 月 日

東京都文京区湯島三丁目 20-9  
特定非営利活動法人獣医学教育支援機構  
理事長 高井 伸二 ㊞

●●住所●●

●●機関名●●

●知事名等● ●●お名前●● ㊞

(別記名簿)

実習生

所属 (学年)	氏名

## 【資料2】

### 誓約書

〇〇〇〇〇長 殿

〇〇〇〇〇においてインターンシッププログラムを受けるに当たり、〇〇〇就業体験実習実施要領等を理解し、実習生として下記のとおり遵守することを誓約します。

### 記

- 1 実習期間中は専ら所定の実習に従事し、実習目的の達成に努めること。
- 2 実習期間中は〇〇〇〇〇職員が遵守すべき法令及び規則を守るとともに実習生としての活動について指導員の指導、監督等に従うこと。
- 3 実習期間中は、特定の政治政党、宗教、企業、団体の利益のための行為を行わないこと。
- 4 〇〇〇〇〇における実習活動中に知り得た情報（公開されているものを除く。）の開示については、指導員の指示に従うこと。実習終了後においても、同様とすること。
- 5 実習の成果を論文等により外部へ発表する場合には、事前に〇〇〇〇〇長の承認を受けること。
- 6 病気等のため予定されていた実習を受けられない場合は、あらかじめ、指導員にその旨を連絡すること。やむを得ない場合は、事後速やかに指導員にその旨を連絡すること。

令和3年 月 日

大学名 学生氏名 ⑩

# 【資料3】

2021年 月 日

〇〇〇〇〇知事  
様

東京都文京区湯島 3-20-9 緬羊会館内  
特定非営利活動法人 獣医学教育支援機構  
理事長 高井 伸二

## 獣医学生の実習・インターンシップの実施について(依頼)

時下、貴職におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、獣医学教育支援機構では、家畜衛生・公衆衛生分野におけるアドバンスト能力(感染症管理、リスクベースの食品衛生など)を習得するための教育の充実を図るため、高度で実践的な実習・インターンシッププログラムを実施しております。つきましては、貴所におかれましても家畜衛生、公衆衛生分野における実習実施機関としてご協力くださいますようお願い申し上げます。

この度は、学生から下記のとおり貴所にてインターンシップを実施したい旨の希望がありました。ついては、学生の意向をご理解の上、御承諾いただきますようお願い申し上げます。

## 記

### 1. 実習参加者

実習学生氏名	所属大学名・年次

2. 実習先:
3. 実習期間:
4. 実習内容:

以上

## 【資料4】

### 個別評価書

(家畜衛生・公衆衛生分野におけるアドバンスト教育プログラム)

参加者		所属	
実習先		実習期間	
評価者			

実習施設 01		実習施設 04	
実習施設 02		実習施設 05	
実習施設 03		実習施設 06	
その他			

事前講義 01		事前講義 03	
事前講義 02			
その他			

実習出席状況	出席 日 (遅刻 日/欠席 日/早退 日)		
受入機関のレポート課題		レポート評価	
VPcamp の実習日誌		日誌の評価	

実習には 規律正しい態度でのぞんだ		業務内容に 適応した行動がとれた	
業務内容を 的確に理解していた		目的意識をもって 意欲的に取り組んだ	

特記事項	
評価者コメント	

VPcamp 事務局

# 【資料5】

## VPcamp 日誌



氏名: \_\_\_\_\_ 大学名: \_\_\_\_\_ 学年( ) \_\_\_\_\_

受入機関名: \_\_\_\_\_

第 日目	年 月 日 : ~ :
実習部門 (実習場所)	
実習指導者の 役職・氏名	
実習の テーマ・課題	
実習概要(実習した業務、手順、内容など)	
特記事項(学んだこと、反省点、明日の予定など)	

# 2025年度 VPcampスケジュール

学生の動き
 参加自治体の動き
 事務局の動き

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
VPcamp2024春実習評価書作成と送付																		募集開始 関係機関との協議 / 夏実習プログラムの作成・提出													
																		案内開始 VPcamp2025夏実習実施の依頼 / 実習実施機関の情報掲載													
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
関係機関との協議 / 夏の実習プログラムの作成・提出																															
ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載																															
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
1次募集										1次選考										2次募集											
実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り																															
選考結果通知 / 参加学生への連絡 / ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載 / 事務手続き																															
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
2次選考										3次募集										3次選考											
実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備 / 学生への連絡																															
選考結果通知 / 参加学生への連絡 / ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載 / 事務手続き																															
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
VPcamp2025夏実習 実施期間																															
実習準備 / 実習開催																															
実施機関・参加学生への連絡 / 評価書作成																															
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
VPcamp2025夏実習 実施期間																															
実習準備 / 実習開催																															
実施機関・参加学生への連絡 / 評価書作成と送付																															
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
																		募集開始 関係機関との協議 / VPcamp2025春の実習プログラムの作成・提出													
																		案内開始 VPcamp2025春実習実施の依頼 / ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載													
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
関係機関との協議 / VPcamp2025春の実習プログラムの作成・提出																															
ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載																															
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
1次募集										1次選考										2次募集											
実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り																															
ホームページの更新・実習実施機関の情報掲載																															
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
3次募集										3次選考																					
実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備																															
選考結果通知 / 参加学生への連絡等 / ホームページへの実習実施機関の情報掲載 / 事務手続き																															
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
VPcamp春実習 実施期間																															
実習受け入れに伴う事務手続き・必要書類のやり取り / 実習準備 / 実習開催																															
実施機関・参加学生への連絡																															
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
VPcamp2025春実習 実施期間																															
実習準備 / 実習開催																															
実施機関・参加学生への連絡 / 評価書作成																															

## **VPcamp 手引き**

### **受入機関用 2025年度版**

VPcamp 事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9 緬羊会館内

特定非営利活動法人獣医学教育支援機構

TEL 03-5817-8824

E-mail [vpcamp@vetintern.jp](mailto:vpcamp@vetintern.jp)

URL <http://www.veteso.or.jp/>